

報道関係各位

2025年11月7日

大阪府高石市

【万博レガシー】

マダガスカル産バニラビーンズを使用した高級バニラジェラート ふるさと納税返礼品について

大阪府高石市（市長：畠中政昭）は2025年大阪・関西万博を機に、地域のこどもたちに世界を感じてもらえる取組として、2024年に続き今年も内閣官房万博国際交流プログラムにエントリー。マダガスカルとの交流に至った経緯としては、本市出身のJICA海外協力隊員の福井妙恵氏がマダガスカルで活躍されていたこともあり、マダガスカルとの交流を模索したところ、ウスピ・サコ大阪・関西万博協会副会長を通じて、かつては東洋一の海水浴場として栄えた歴史のある本市と同様、海に育まれた国“マダガスカル”とのマッチングが叶いました。

万博終了後も、万博国際交流事業で生まれた交流を継続していくため、高石市内の事業者である株式会社フォレストバンク様がマダガスカル産高級バニラビーンズを使ったジェラートを開発し、ふるさと納税の返礼品に登場いたします。また、万博で大人気であったバオバブの木ジェラートも登場いたします。

【ふるさと納税返礼品】

➤ 高級バニラジェラート



マダガスカル産の最高級バニラビーンズを贅沢に使用し、日本の伝統食材“味噌”的やさしいコクを加味

万博会場で1日限定で販売し、700食を完売

濃厚だけど後味すっきり上品な甘さ

➤ バオバブの木ジェラート



万博会場で連日長蛇の列を作り、2,500 食を完売したジェラート

アフリカ原産の希少果実「バオバブ」の実を贅沢に使用

PANAF（万博会場内アフリカンレストラン）で販売され、2,500 食を完売した大人気ジェラート

爽やかな酸味とまろやかなコクが絶妙に調和

■万博国際交流プログラム

内閣官房では、大阪・関西万博を契機に、全国各地域において、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流していくための枠組み「万博国際交流プログラム」を令和6年度から令和7年度にわたり実施し、参加国・地域との相互理解、や国際交流を通じた地域の課題解決・活性化などの取組みを支援します。

具体的には、万博の理念や共通の課題等への理解を深めるための事前学習を含め、地域の住民等と交流相手国の万博関係者や出身者等とが継続的に交流していくため地方公共団体が交流相手国と行っていく事業に対し、支援を行うものであり、参加自治体は、交流計画の提出・国の審査を経て、登録・公表されます。（内閣官房 HP）

高石市は第四次申請（令和6年5月31日までの申請）において登録されました。

・この報道発表資料に記載されている内容、製品、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。

【本件お問い合わせ先】

・高石市総合政策部まち未来戦略室地域創生課 担当：坂口・前川・初田・楠本・長江

TEL 072-275-6138 Fax 072-263-6116 メール ti-sei@city.takaishi.lg.jp

以上